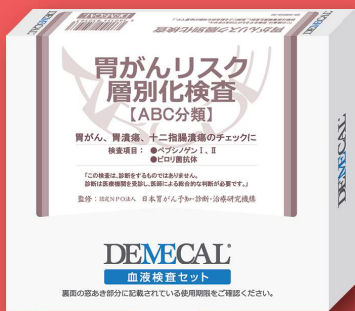


ピロリ菌感染の有無と胃の萎縮具合で胃がんリスクの程度を層別化



<NPO 法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構 監修>

胃がんリスクチェック 層別化検査

希望小売価格(税別)

9,500 円
(税込価格 10,450 円)

検査項目

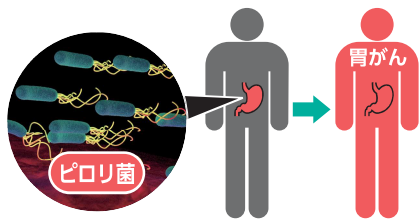
- ピロリ菌抗体 —— ピロリ菌の有無を判定(判定基準:3.0U/ml)
- ペプシノゲンⅠ・Ⅱ —— 胃の炎症や胃粘膜の萎縮程度を判定

ピロリ菌検査は
生涯1度の検査

感染由来である胃がんの対策として、がんに罹患するリスクを確認して、ハイリスクである有所見者は除菌、精密検査を行うことが重要です。「胃がんリスクチェック」は予防・早期発見・早期治療に導くための層別化(ABC分類)検査です。

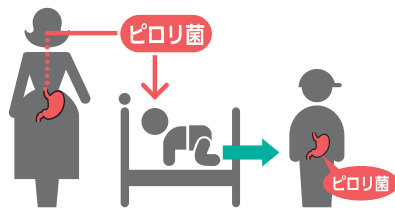
胃がんは「ピロリ菌」による感染症

「子宮頸がん」、「肝臓がん」の多くがウイルス感染が原因であることと同じように、近年、「胃がん」もヘリコバクター・ピロリ菌による感染症であることが判明しています。



「ピロリ菌」の感染は幼少期

井戸水が生活用水の時代に感染が広がり、現代では、胃の中の酸性が弱くピロリ菌が生きのびやすい「幼少期」に、ピロリ菌に感染している大人からの食べ物の口移しなどにより感染すると言われています。



東アジアの「ピロリ菌」は強毒

日本、韓国、中国といった東アジアのピロリ菌の型は、欧米諸国のものに比べて強毒です。また、東アジア諸国の「胃がん」の発生率、死亡率は欧米に比べて著しく高いことも発表されています。



日本は、
世界まれに見る
胃がん大国

日本での感染者数は
約3,500万人と
推察されています。

現在、国内の死亡原因の1/3が「悪性新生物(がん)」によるものです。

中でも「胃がん」は、「がん部位別死亡順位」では、*男性は2位、女性では3位となっています。

しかし、早期発見できれば5年生存率が90%と高く、「早期発見・早期治療」が重要だと言われています。

胃の調子が気になる、検査をしたいけど時間がない、バリウムは苦手。胃カメラはちょっとこわくて・・・そんな方にまず自宅でする「胃がんリスクチェック」をお勧めします。

胃がんリスク層別化判定

NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構
「胃がんリスク層別化検査管理指針」を元に作成

ABC分類	ピロリ菌抗体	ペプシノゲン値	胃粘膜状態の予測	1年間の胃がん発生頻度の予測	胃がんの危険度
A群	- (陰性)	- (陰性)	おおむね健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。	ほぼ0人	胃がんになりにくい
B群	+ (陽性)	- (陰性)	少し弱った胃粘膜です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意しましょう。	1,000人に1人	↓
C群	+ (陽性)	+ (陽性)	ピロリ菌感染により、胃粘膜の萎縮が進行し、胃がんになりやすくなっています。	500人に1人	
D群	- (陰性)	+ (陽性)	ピロリ菌が住めなくなるほど胃粘膜の萎縮が進行し、胃がんになりやすくなっています。	80人に1人	
E群	胃がんリスク判定の対象外		医療機関でピロリ菌除菌治療を受けた方はE群です。除菌後も経過観察が必要です。		

※判定がA群でも、自覚症状のある方は、医師へ相談してください。

*厚生労働省「平成29年人口動態調査」より

※この検査キットは、血液検査を行うもので、病気の特定や診断を行うものではありません。

取扱代理店

入交クリエイティブ株式会社

- ◇ 東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19KDX浜松町ビル8階
TEL:03-6809-2963 FAX:03-6809-2640
 - ◇ 本社 〒781-0112 高知県高知市仁井田4563-1
TEL:088-855-5990 FAX:088-847-7466
- MAIL demecal_info@kenkousenaka.jp

発売元

株式会社リージャー

- 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-33-8 アクセスビル2F
TEL:03-5645-7371 FAX:03-5645-7039
https://www.leisure.co.jp

「DEMECAL」「デメカル」および「DEMECAL」ロゴは株式会社リージャーの登録商標です。無断使用・転載は固くお断りいたします。